

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 31 年 2 月 21 日(木)15:30~17:00 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

## 1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

## 2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

## 3. 公開講演会「アンデス文明の起源を求めて—日本人研究 60 年の軌跡と展望」[詳しくはこちら](#)

日本人研究者が約 60 年にわたって続けてきたアンデス文明研究の意味と意義を紹介するとともに、関心や対象を広げつつある次世代の研究動向を取り上げ、今後進むべき研究の方向性、そして遺跡が存在する地域の人びととの協働の可能性などを考えます。



日 時：3 月 22 日(金)18:30~20:45(17:30 開場)

講演会場：オーバルホール

(大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞社ビル B1)

東京サテライト会場(ライブ配信)：

聖心女子大学 4 号館 / 聖心グローバルプラザ 3 階

ブリット記念ホール(東京都渋谷区広尾)

定 員：480 名(先着順/要事前申込)

参加費：無料

手話通訳あり

主 催：国立民族学博物館、毎日新聞社

協 力：山形大学、金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター、

アンデス考古学調査 60 周年記念事業実行委員会、聖心女子大学

— 関 雄二 (副館長)—

## 4. 特別研究 国際シンポジウム「Making Food in Human and Natural History」

本シンポジウムの目的は、人類が食を操作してきた営みを文明論的な視点から批判的に検討し、文明社会を支えてきた食料の生産の将来におけるありかたを見直そうとするものです。このために、生態環境から得られる食料資源を通時的視点も含め考え、人間と食べものとの関係を文化的、社会的観点から考察し、食べものを通じた個人間、集団間の関係を探究し、国家と集団、個人の間を論じることにより、当初の問題意識を段階的にくみあげていくことをねらいとしています。

日 程：3 月 18 日(月)、19 日(火) 国際シンポジウム(本館第 4 セミナー室)

3 月 20 日(水) 巡見によるワークショップ

定 員：50 名(要事前申込(予定))

参加費：無料

— 野林 厚志 (学術資源研究開発センター 教授)—

## 5. 研究の窓

### 国際展示「南方共筆：継承される台南風土描写特別展」について

国立台湾歴史博物館では、本館との共催により、2018年10月2日から2019年4月14日まで国際展示「南方共筆：継承される台南風土描写特別展」を開催中です。本展は、日本統治時代、1934年から1940年にかけての時期の台湾で研究や教育に従事した地理学者、内田勲(1906-1947)が残した記録をもとに、当時の台湾の姿に改めて目を凝らしてみようとするものです。今回は、本展の概要や、両館の協力・協働の成果等についてご紹介します。

— 野林 厚志 (学術資源研究開発センター 教授)—

## 6. 研究の窓

### 災害を語り継ぐ

東日本大震災が発生してまもなく8年になります。津波常襲地の三陸沿岸には、先人たちが経験や教訓を伝えようと多くの津波碑が残されています。さらに東日本大震災以降、大きな被害を受けた建造物（遺構）の保存やモニタリングの建立、語り部活動などが多くの地域で始まっています。最近訪れた宮城県南三陸町と石巻市の事例、さらに阪神・淡路大震災25周年に計画している世界災害語り継ぎフォーラム(TeLL-NET)2020についてもお話しします。



南三陸町にあるホテルは、ほぼ毎日、宿泊客向けにガイド付きの「語り部バス」を運行している。

— 林 勲男 (学術資源研究開発センター 教授)—

## 7. 企画展「旅する楽器—南アジア、弦の響き」(展示ツアー)

[詳しくはこちら](#)

南アジアの弦楽器は、中央アジアや西アジアから伝えられた楽器が改良され定着したものが多く、そのいくつかは南アジアでの変容を経て東南アジア、東アジアにも伝えられました。楽器が広大な地域を旅して伝播していく様を知ることで、ユーラシアにおける長期的な文化の交流を実感してください。

会 期：2月21日(木)～5月7日(火)  
会 場：国立民族学博物館 企画展示場  
観覧料：一般 420円(350円) 高校・大学生 250円(200円)  
中学生以下 無料

※( )は20名以上の団体料金  
リピーターは団体料金を適用  
※本館展示もご覧いただけます。



※その他の配布資料  
外来研究員受入一覧(資料4)

— 寺田 吉孝 (学術資源研究開発センター 教授)—

### お問い合わせ



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp